

■「レコフ M&A データベース」操作のワンポイントアドバイス

【第 62 回】『MBO とは？—非上場化だけではない』

2007年9月4日に経済産業省が公表した「企業価値の向上及び公正な手続確保のための経営者による企業買収 (MBO) に関する指針」で上場会社の非上場化を伴うMBOが取り上げられるなど、MBOというと上場企業がTOBを行うというイメージが強いようですが、未上場企業におけるMBO、事業譲渡のMBO等や、資本関係の解消の手段として利用されてもいます。ここではレコフM&AデータベースでのMBOの定義を確認し、IN-OUT、OUT-INでの例をご紹介します。

●レコフ M&A データベースでの定義

「MBO」…経営陣による子会社や事業の取得 (MEBO も含む)

【参考】「非上場化」…上場企業の経営陣が、MBO などを使って上場を廃止すること

【検索条件指定】画面

1. ■データ種別で M&A を (ここではグループ内は除く)、■マーケットで IN-OUT、OUT-IN、■キーワードで「MBO」を選択し■検索期間(ここでは 2005/01/01~2015/05/31)を指定したら「一覧表示」ボタンをクリック

①ここではM&Aだけ選択

②黄色部分を変更入力、またはカレンダーで選択

③ここをクリック

④ここをクリック

集計をする場合は「データ集計」ボタンをクリック

2. 「全件選択」、「詳細表示」の順にクリックし、「全件 PDF」を選んで PDF 化

全件選択	データ種別	公表日など	当事者 1	当事者 2	形態
<input checked="" type="checkbox"/>	M&A	2005/03/01	Sammy Holding Co.,Inc.現経営陣	Sammy Holding Co.,Inc.(「ガミナールディングス」)	買収
<input checked="" type="checkbox"/>	M&A	2005/03/03	ケイック[リク]日本法人]現経営陣(ジャック)	ケイック[リク]日本法人]	買収
<input checked="" type="checkbox"/>	M&A	2005/06/28	Applico Security, Inc., Arun Kant 社長	Applico Security, Inc.(「アスピコ」)	買収
<input checked="" type="checkbox"/>	M&A	2005/09/09	カニキ「グループ」、学生援護会現経営陣	学生援護会	買収
<input checked="" type="checkbox"/>	M&A	2005/09/13	ライオン「現経営陣(「ライオン」)	ライオン「大日本化学工業(「ライオン」)	買収
<input checked="" type="checkbox"/>	M&A	2005/11/04	柳柳「全修業氏	柳柳「全修業氏	買収
<input checked="" type="checkbox"/>	M&A	2006/04/06	外「(「AP」)	MEI「(「MEI」)	買収
<input checked="" type="checkbox"/>	M&A	2006/04/27	CVC「(「CVC」)	信和	買収
<input checked="" type="checkbox"/>	M&A	2006/07/05	★修正:「(「PLK」)	「(「PLK」)	買収
<input checked="" type="checkbox"/>	M&A	2006/08/29	CITIC「(「CITIC」)	「(「CITIC」)	買収

詳細表示画面が出たら、「全件 PDF 作成」をクリック。

表示された案件のうち、何件かを選んで PDF 化する場合は当該データに☑を入れてから「選択 PDF 作成」をクリック

■親会社がノンコア部門などを売却しようとし、子会社経営陣単独でこれを取得するタイプ

▼当事者1 USA/USA/機械// ユニオンスペシャル現経営陣 (TERENCE A HITPAS代表)	▼対価	OUT-IN	買収 (MBO)	日付	金額	出資比率	有効日
				2008/02/26		0→100	2008/03/01
▲当事者2 JPN/USA/機械/海外法人/ ユニオンスペシャル [JUKI]	▼株取得先						
	JUKI						

JUKIの米全額出資子会社で工業用ミソ製造のユニオンスペシャル(イリノイ州)のTERENCE A HITPAS代表は、同社をMBOにより3月1日付で買収する。全株式を取得する。同社は従業員104人。JUKIは、ユニオンスペシャルの業績回復の見通しが立たないため、事業撤退に向けて検討を行っていた。経営陣より株式購入の提案があった。

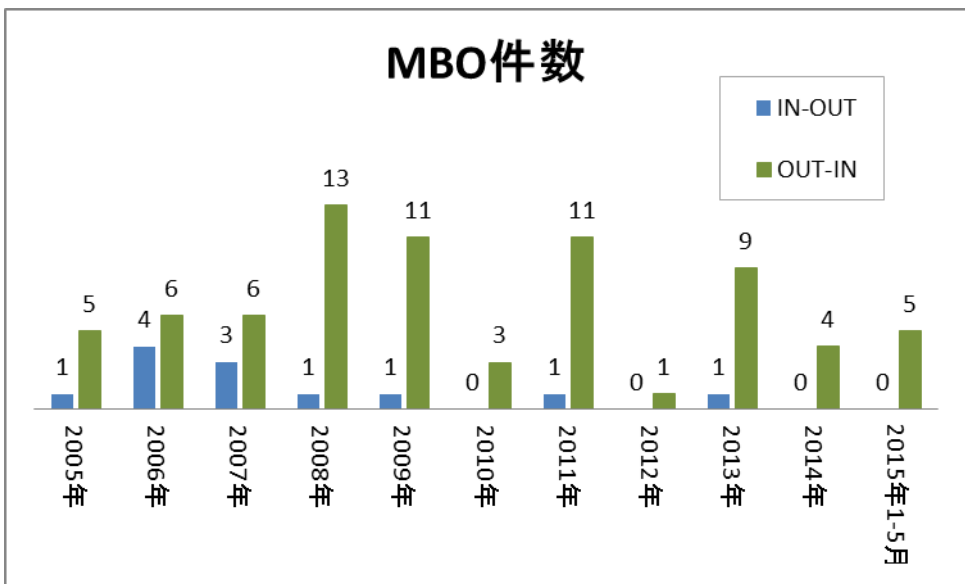
■経営陣と投資ファンドが組んで売却対象を取得・運営するタイプ

▼当事者1 USA/GBR/その他金融// カーライル・ジャパン・パートナーズ・L.P. (カーライル・グループ運営ファンド)、プロトドリフ現経営陣	▼対価	OUT-IN	買収 (MBO)	日付	金額	出資比率	有効日
				2009/10/28	19,500百万円	0→100	2009/11/13
▲当事者2 JPN/東京都/ソフト・情報/未上場など/ プロトドリフ(ITX子会社)	▼株取得先						
	ITX、オゾパス						

ITXの子会社で修理・車検など自動車アフターマーケット業界向け業務用システム販売のプロトドリフ(東京)の現経営陣は、米投資会社のカーライル・グループと共同で、プロトドリフをMBOにより11月13日付で買収する。まず、カーライルの運営する英イギリス諸島のカーライル・ジャパン・パートナーズ・L.P.がITXと当社親会社のオゾパスから約195億円で全株式を取得する。その後、経営陣が一部株式を取得する。プロトドリフは売上高100億3700万円、従業員1000人。カーライルは売上高100億3700万円、従業員1000人。カーライルは、海外展開を加速する。売代理店、旅行代理店などにも業種特化型のパッケージソフトを提供している。カーライルのグループは、カーライルを生かし、海外展開を加速する。

▼当事者1 JPN/東京都/その他製造/未上場など/ ホーエンジニアリング現経営陣、ベンジック・キャピタル・マネジメント(BCM) [みずほ証券]	▼対価	IN-OUT	買収 (MBO)	日付	金額	出資比率	有効日
				2007/03/20		0→100	2007/03/15
▲当事者2 THA/東京都/その他製造/未上場など/ ホーエンジニアリング [TCB]	▼株取得先						
	TCB						

タイの建設用仮設機材以外の会社、TCBの全額出資子会社で軽仮設機材製造のホーエンジニアリング(東京)の森田豊社長ら経営陣は、みずほ証券(同)の全額出資子会社のベンジック・キャピタル・マネジメント(BCM)が運営するファンドと共同で、ホーエンジニアリングをMBOにより3月15日付で買収した。全株式を取得した。4月1日付で(ホー)に社名変更する。ベンジック・キャピタル・マネジメントは、従業員110人。TCBは、従業員110人。TCBは、2005年4月にTCBに全株式を売却していた。両社の事業シナジーが薄かった。



MBOの案件を個々に見ていくと子会社・事業部門が独立する型が多いことがわかります。親会社としてはノンコア部門を手放すという目的を果たすため全く別の会社に売却する方法もありますが、これまで取引していた子会社・部門が競合会社になると、以前と同様のサービスが受けられなくなる可能性もあります。

また、海外で現地日本法人がMBOで取得される件数(OUT-IN)が多い割に、外国企業が日本から撤退する際のMBO件数(IN-OUT)の少なくなっています。

※OUT-INには一部、日本の経営陣と外資ファンドの共同による日本企業からのMBOも含まれます。